

日出町 桜川溜池ハザードマップ

■ため池ハザードマップについて

桜川溜池ハザードマップは、当該ため池の最も被害が発生すると想定される箇所を決定させ、経験式による最大洪水流出量にて予測される、浸水想定範囲、到達時間等の表記、および避難経路、緊急連絡先等の減災を目的とした情報を一括の地図で示したものです。

従って、降雨による河川の増水や地震等による地形変化等は考慮していません。

よって、浸水予測区域、浸水深、洪水到達時間が異なることも考えられますので、浸水想定範囲外の方も十分に注意して下さい。

・避難所は日出町が指定する大規模災害時避難所を表示しています。

・緊急を要する場合には、けがれ崩れ危険箇所以外の高台に一時的に避難して下さい。

・地域防災計画の見直しに伴い、避難所等が変更となる場合があります。

■日出町から提供される避難情報について

日出町の避難・判断基準に準じて、避難勧告、避難指示を発令していきます。



いつでも避難ができるよう準備
しましょう。**身の危険を感じる人**
は、避難を開始しましょう。

避難場所へ避難しましょう。

まだ避難していない場合は、**直ちにその場から避難**しましょう。

■防災情報の入手方法について

気象情報等

●テレビのdボタン
リモコンのdボタンを押すと防災気象情報を見ることができます。

●大分地方気象台
気象情報に関する注意報、警報や、地震・火山に関する情報をお知らせしています。

●県民安全・安心メール
防災情報が携帯電話やパソコンに電子メールで届きます。
事前に登録して有事に備えておきましょう。

【配信される情報】

気象、地震、津波、
土砂災害、洪水等

【登録方法】

携帯電話からfe@bousai-ota.jpに電子メール
を送信または右のQRコードを読み取り、登録
して下さい。



避難情報等

●日出町ホームページ
災害情報・避難所に関する情報を掲載します。

●防災行政無線
屋外に設置しているスピーカーから、町民の皆様に向けた防災情報を放送します。

●緊急通報メール
避難勧告などの緊急情報をより多くの人にお伝えするため、緊急時に町内の携帯電話へ
一斉に「緊急通報メール」の配信を行います。

■緊急連絡先について

警察 110 消防 119

日出町役場(代表) 0977-73-3111 災害用伝言ダイヤル 局番なし「171」
日出消防署 0977-72-7657
杵築日出警察署 0977-72-2131 災害用伝言板 「web171」
防災行政無線確認ダイヤル 0120-673-010 (※インターネット利用環境及び事前登録が必要)

■桜川溜池非常時の対応について

＜地震時＞

震度5以上の地震発生時には速やかに目標による外観を点検

ため池管理者による点検

①緊急点検(24時間以内、速やかに)・・・点検結果の報告 → 日出町災害対策本部に連絡

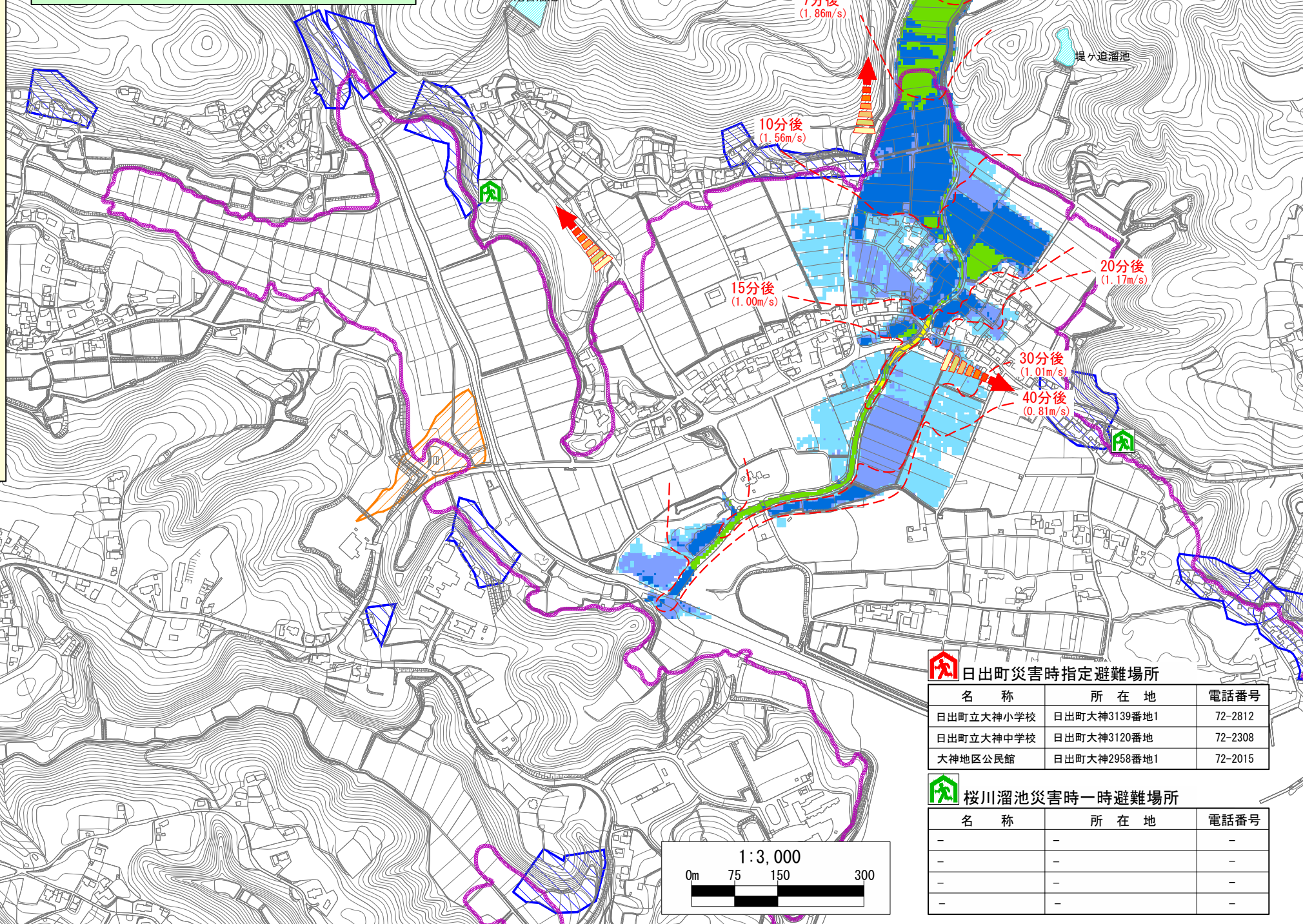
②継続点検(1週間後)・・・異常の発見 → 日出町農林水産課に連絡



＜降雨時＞

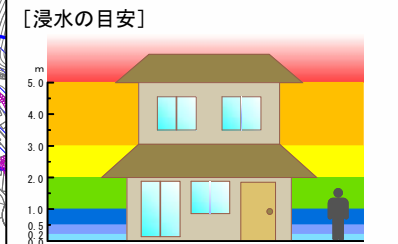
気象警報(大雨、洪水)が発令され解除後、ため池施設の状況について点検を実施

ため池管理者による点検・・・異常の発見 → 日出町災害対策本部に連絡



施設名	桜川溜池
所在地	大分県豊後日出町大字直瀬井主神宮
緯度	北緯 33° 23' 12.0"
経度	東経 131° 36' 19.0"
所有者	集落、水利組合
水系	丸尾川水系
河川名	年の神川
目的	農業用水
型式	アースダム(中心コア型)
堤高(m)	11.7m
堤長(m)	58.0m
総貯水量(m3)	18,000m3
流域面積(km2)	0.182000km2
かんがい受益面積(ha)	25.0ha
かんがい戸数(戸)	62戸
《氾濫解析手法》	
解析モデル：二次元不定流モデル	
流出量 (q1) 農地防災事業便覧方式 $Q=4.5H^{1.5}$	
(q2) 洪水吐設計洪水量	
$Q=q1+q2=1,466.83+4.09$	
$=1,470.92m^3/s$	

凡 例	
5.0m以上	■
3.0m以上～5.0m未満	■
2.0m以上～3.0m未満	■
1.0m以上～2.0m未満	■
0.5m以上～1.0m未満	■
0.2m以上～0.5m未満	■
0.2m未満	■



日出町災害時指定避難場所

名称	所在地	電話番号
日出町立大神小学校	日出町大神3139番地1	72-2812
日出町立大神中学校	日出町大神3120番地	72-2308
大神地区公民館	日出町大神2958番地1	72-2015

桜川溜池災害時一時避難場所

名称	所在地	電話番号
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

洪水到達時間	()内は流速
指定避難場所	■
一時避難場所	■
避難方向	→
がけ崩れ危険箇所	■
土石流危険箇所	■
津波到達ライン	〰